

フォームライトSL

フォームライト SL の燃焼ガス有害性に関する見解

1. 建築材料の燃焼時のガス有害性評価方法

建築材料の防火性能評価試験のうち、燃焼時に建築材料から発生するガスの有害性を評価する試験にガス有害性試験があります。

これは、回転かごに入れた 8 匹のマウスに燃焼ガスを導入し、マウスの活動記録を評価することにより燃焼ガスの有害性を評価する試験方法です。

赤ラワン材を標準材料としてマウスの平均行動時間を測定し、これよりもマウスの行動時間が大きくなれば、ガス有害性試験に合格とするものです。

2. フォームライトSLのガス有毒性

フォームライトSLは上記ガス有毒性試験に合格をします。

つまり標準材料である木材に比べ、燃焼時の有毒性は低いと言えます。

実際の火災の場合、フォームライトSLが直火に晒されるのは内装材(石膏ボードなど)や外装材が焼失した場合であり、かなり火災が進行した状況になります。

人体への影響(有毒性)を考えた場合、火災の早期に燃焼し、有毒性の高い標準材(木材)よりも、フォームライトSLの安全性は高いと判断しております。